

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ひかり	公表日	令和8年2月17日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			現在は3階と言う立地もあり、身体的な障害がある子どもの受け入れを行っていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			子ども達も自分たちの使っているところの整理に努めるため、一緒に掃除を行うこともある。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今回初めて保護者評価を実施したので参考にしていきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			こまめに話をする時間を設けている。意見も出やすいので改善点も探っていきたい。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今のところ実施していません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>		外部、法人内での研修の機会などを増やしていきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもの現状や伸ばしていきたい点など職員で話し合う時間を多くとっている。	幼稚園の担任の先生にも話を聞きながら計画を立てている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		話し合う時間を設けて、支援計画をたて、内容はだれでもすぐに見られるようにしている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			変化があったり、目標が達成されたなどある場合にも臨機応変に対応していくようにしている。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			話し合いの時間を設けて一人ひとりにあった計画になるよう努めています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			SNSなども活用しながら楽しく活動できる内容を考えています。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		人数が少ないため集団での活動は難しいこともあるが、保育士も加わり人数を増やして友達と関わる活動を出来るようにしている。	現在人数が少ないので集団が作りにくいですが、長期休みなどは集団を作れるよう努力しています。

20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			0日の流れの確認を行っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		集まって時間を取ってが難しいので、連絡帳を書きながら子どもの様子を伝え合っている。	日誌や連絡帳を書きながら振り返りを行い、次回の活動の内容を考えています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			地域との関わりも増やしていきたい。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			活動の中で自由に選択ができるようにしたり、活動の内容と一緒に考えられうようにしている。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		認定こども園が併設されているので、こまめに様子を伝え合っている。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				教育委員会や学校の先生など連絡が取れるようになります。
関係機関や保護者との連携	(28~30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			今後実施していくように努めます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		併設されている園で行われる行事などへの参加をしている。	
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>		研修などがある場合はお知らせていきたいと思います。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		保護者への聞き取りの際、伸ばしていきたい点について共通理解をし計画を立てている。	保護者や子どもの意見だけでなく幼稚園の先生からの意見も大切にしている。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		幼稚園との併設もあり、現在来ている子は自園の子どもだけなので、園行事等で保護者やきょうだい児も交流の場ができるか、事業所内でも行なっている。
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			

41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		行事のお知らせは月ごとにお便りを出しているが、SNS等の利用はしておらずお帳面に写真を載せて様子を伝えている。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		まだ実施できておりません。検討していきます。
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			薬がある場合は服薬依頼書と薬情の提出をお願いしています。
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			アレルギーがある子どもには病院からの指示書をもらうようお願いしています。
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			職員間での報告などは行っている。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		<input type="radio"/>		現在身体拘束を必要とする子どもがいないので行っていないが、状況に応じて行っていきたい。